



# JSCA千葉ニュース(春)

発行 一般社団法人 日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報・会員委員会)  
〒261-0821 千葉市中央区若草1-2-35 (株)向後構造設計事務所 内 TEL043-225-2181 FAX 043-264-3046

## JSCA千葉 平成30年 新年会 記念講演会

JSCA千葉(広報・会員委員会)

### 【JSCA千葉 平成30年 新年会記念講演会】

平成30年2月6日(火)午後3時より三井ガーデンホテル千葉にて、JSCA千葉平成30年新年会記念講演会が、開催されました。講演会はJSCA千葉 市原副代表の総司会により進行され、JSCA千葉 向後代表の挨拶から始まり、JSCA千葉 涌井役員の講師紹介へと進み講演会が始まりました。

### 【向後代表の挨拶】

立春も過ぎましたが改めまして明けましておめでとうございます。本日は皆様寒い中



JSCA千葉 向後代表

JSCA千葉の平成30年新年会にお集まりいただきありがとうございました。2020年の東京オリンピックに向けて人手不足が言われています。またそれに先立ち元号の改正もあります。思い返せば、平成は災害の時代だったように思います。平成7年に阪神・淡路大震災が発生したことを契機に耐震診断・耐震補強が始まり、千葉県でも昨年度まで20年間JSCA千葉も協力して参りました。平成23年には東日本大震災があり千葉県内でも液状化に関連しJSCA千葉も住民説明等に協力して参りました。本日は激甚災害ということで興味のある話題です。講師の北嶋秀明先生よろしくお願いたします。

### 【涌井役員の講師紹介】

一級建築士事務所 ETRA環境技術研究所の代表です。「世界と日本の激甚災害事典」の著者であり、JSCA会報誌「STRUCTURE」の元編集委員。講師の参考著書は、多様な災害を気象・雪・土砂・風地震・火山及び人為災害の6種に大別し、1900年から今日までの激甚災害の中から死亡者数を指標にして100事例抽出し住民からの視点で詳説した書籍です。(丸善出版)



### 【講演会】

「世界と日本の激甚災害」の現場から(北嶋秀明先生) かつて災害の大きさは経済損失により比較され、新聞記事の紙面の面積で比較されていた。激甚災害の定義を死亡者数を指標にして死者5000人以上の災害を激甚災害と定義し人間居住の視点から見ると、  
災害リスク=災害の要因×曝露×地域と住民の脆弱性  
リスク=発生確率×被害規模と考えられる。災害の拡大要因として自然が保持する巨大なエネルギーとスケールに対し、人間のヒューマンスケールとの桁違いのギャップ 科学・技術者専門家と非専門家である住人とのギャップ この二つのギャップが想定外の災害を生むことが多い。 という内容の講演会でした。地震に対する考え方ではなく遠回りのようでも世界全体の災害の歴史に学ぶことにより



講習風景



講師 北嶋秀明先生

防災・減災が生きたものにする観点で過去の事例を解説していただき行政にとっては参考となる講演会でした。

この講演会の中で中国についての説明がありましたが、 $(1 + \text{中国震度階} \div 2) \approx \text{気象庁の震度階}$ は初めて知り、中国では激甚災害現場は、残したまま別の都市を造る。ダイナミックな考え方だと思いました。メキシコの枠組組積造の住宅は上位中所得国で日本の1/6程度の強度。東日本大震災では経済の復興の面では復興ツーリズム等も必要。2015年3月時点では講師が三陸の港町に滞在し体感しながら考察していると著書の序文に記載がある。今回の100年以上の全世界に渡る激甚災害という講演は1分野の技術的講演のように短時間の講演内容ではなく大学の建築史の一部として受講してみたい内容でした。

## JSCA千葉 平成30年 新年会 懇親会

## JSCA千葉(広報・会員委員会)

## 【JSCA千葉 平成30年 新年会 懇親会】

平成30年2月6日(火)午後5時30分より記念講演会に引き続き、JSCA千葉平成30年新年会懇親会が開催されました。JSCA千葉 佐藤副代表の司会により向後代表の挨拶より始まりました。

## 【向後代表の挨拶】

記念講演会の挨拶に加え、千葉県内の公共建築物の耐震化率が95%であること。JSCAの学生会員制度があるものの会員数が少ない事への対策として、構造の面白さを知り、やりがいを持てるよう小規模な建物から始める機会を増やし、世代交代をしたいとの展望が語られました。最後に参加者のますますのご健勝を心より祈念致します。

続いて来賓挨拶として、JSCA 嵐山副会長よりの挨拶



JSCA  
嵐山副会長挨拶



千葉市審査課  
松本課長挨拶

## 【JSCA 嵐山副会長の挨拶】

一般社団法人日本建築構造技術者協会 嵐山副会長よりJSCA千葉は大規模な会と聞いてはいたが、参加してみても大きさに驚いています。今後も活発な活動に期待します。JSCAのロードマップをご説明しますと、まず、JSCAの将来につき整理し始めました。また2019年の設立30周年事業に着手し始めたところでありますとのご挨拶がありました。

続いて来賓挨拶として、千葉市審査課課長よりの挨拶

## 【千葉市審査課松本課長の挨拶】

JSCA千葉会員による日頃の建築行政へのお礼の言葉があり、今後の行政の説明では、2020年オリンピック・パラリンピックでの一部競技が千葉で行われること。

千葉駅のグランドオープン。防災では熊本への協力の説明があり、会員と出席者の活躍を祈念して頂きました。

懇親会は、一般社団法人 千葉県建築士会 竹江会長の乾杯ご発声で祝宴に移行し、来賓・賛助会員・会員による歓談が賑やかに始まり、(株)角藤 平瀬賛助会員の司会で賛助会員の紹介と各社の営業担当からの挨拶があり、最後に、祝宴として☆JSCA千葉バンド TAKE5による演奏へと進みました。ご存じとは思いますがメンバーの紹介 Vocal/柴田, Guitar/向後, Bass/佐藤, Drums/園部 Keyboard/五十嵐, Saxophone/結城・佐藤(以上演奏者)演奏の案内はありませんでしたので、取材メモより曲目は、ムービーオン・ユービリーブミー・太陽の当たる場所の他パーパームーンの主題歌・テキーラ・素顔のままで等々アンコールの「また逢える日まで」では、ボーカルが客席に乱入し、数名の出席者がボーカルとなり楽しく歌いました。



☆JSCA千葉バンド  
TAKE5メンバー



急にボーカル  
にされた出席者

数名の来賓も歌ったようですが確認できませんでした。

## 【閉会の挨拶】

久しぶりのJSCA千葉バンドの演奏に強力なボーカルが加わり、盛大に盛り上がった祝宴も終わり、少し落ち着いた雰囲気となり、JSCA千葉 市原副代表の閉会の挨拶です。挨拶は一言！若手も所長達に負けないパワーを持って！



JSCA千葉  
市原副代表挨拶



JSCA千葉 懇親会  
三本締め全景

最後に、恒例の市原副代表の三本締めで締められて、懇親会は盛大の内に閉会となりました。

# JSCA千葉 平成29年度 研修旅行 概要報告

## JSCA千葉(広報・会員委員会)

平成29年度の研修旅行は、越後湯沢一泊旅行です。平成29年11月12日(日)～13(月)の二日間の旅行でした。秋号発行の後に行われましたので春号でお伝えします。今回も、現地集合・現地解散ではなく、忘年会を兼ねて上越新幹線「とき」車中で飲みながら1時間半、皆で懇親を深める「研修旅行」とする予定でしたが、結果はいかに。1日目は、湯沢高原ロープウェイに乗り秋の景色を楽しむ。2日目は、歴史民俗資料館を見学の後、自由行動の予定。JSCA千葉役員だけでなく、会員・所員・賛助会員で楽しく旅行したいとの、西澤研修旅行委員長の意向が実現。

次回以降の研修旅行への参加を検討される方のために日程を詳細に記述しておきます。

11月12日(日) 参加人数22名  
 11時30分:役員は「銀の鈴」に集合し車中軽食の買い出し  
 おつまみ・紙皿・コップ・箸などを購入。お疲れ様です。  
 12時00分:参加者集合(東京駅上越線21番ホーム)  
 12時40分:東京駅発、上越新幹線Maxとき321号(指定席)  
 車中で軽食の後、懇談(おにぎり・焼き鳥・ビール)  
 14時00分:越後湯沢駅着  
 14時20分:湯沢高原ロープウェイでパノラマパーク着  
 (自由行動) 参加者の内、2名は上らなかつたようです。  
 写真で様子を見てみましょう。



パノラマパークの様子 中央は西澤研修旅行委員長

湯沢高原パノラマパークは、冬はスキー場とのことです。湯沢高原パノラマパークには、1時間弱の滞在でした。

16時00分:越後湯沢温泉「湯沢ニューオータニ」到着

入浴から休憩をし、宴会に向け体力温存です。

18時00分:大宴会の始まり。本締めは0時00分でした。

11月13日(月) 帰りの切符を渡されます。

10時00分:ホテルをチェックアウト。仕事の方は帰ります。

10時15分:湯沢歴史民俗資料館「雪国館」を見学。

12時00分:「保よし」で昼食後、自由行動。



「雪国館」の名前の由来は川端康成の「雪国」の舞台が湯沢であったことから、ヒロイン駒子の部屋もあり、雪国の暮らしの展示場。左の写真の由来は不明です。JSCA千葉に乾杯と

H29.11.12 研修旅行と印刷されていますので掲載します。

14時08分:上越新幹線「越後湯沢駅」を「とき322号」発車

15時28分:無事に東京駅に到着しました。

JSCA千葉では、毎年このような研修旅行をしています。

企画してくださるのは、JSCA千葉研修旅行委員会です。

構成メンバーは、西澤委員長を筆頭に、栗田・劔持の若手鈴木・田島・石橋の賛助会員です。お疲れ様でした。



(左上)西澤委員長が先導 (右上)中は広いですね  
 (左下)まだしらふの様子 (右下)賛助会員の皆さん

今更ながら JSCA千葉とは

入会希望者をご紹介下さい

JSCA千葉(広報・会員委員会)

今号から編集担当が変わりました。改めて、JSCA千葉の現在の概要をまとめてみます。

JSCA千葉は正式には、一般社団法人 日本建築構造技術者協会の関東甲信越支部・千葉地域会です。

一般社団法人 日本建築構造技術者協会に入会し千葉県で活動している方は、JSCA千葉会員です。

JSCA千葉のホームページより、沿革を転載します。

詳しくはホームページをご覧ください。

沿革(1997年以前は本部のホームページより)

1981年:構造家懇談会設立(JSCAの前身)

1989年:社団法人 日本建築構造技術者協会 設立

1997年:本部から県単位の要望を受け千葉地域会結成

1998年:千葉地域会第1回総会、初代代表飯島宏治氏

2012年:一般社団法人 日本建築構造技術者協会 設立

会員種別(要約します)

■正会員(年会費22,000円)

(1)構造設計一級建築士

(2)構造設計実務4年・一級建築士・正会員1名の紹介

■一般会員(年会費9,000円)

建築構造設計・監理をする個人でJSCAに賛同する者

■学生会員(年会費3,000円)

建築の構造を専攻している学生・大学院生

■賛助会員(年会費24,000円) ※本部は70,000円

本協会の事業を賛助するために入会した者または団体

JSCA千葉では、若手技術者が積極的に参加出来るよう若手勉強会などの制度を整備しています。

会員の皆様は、入会希望者には事務局をご紹介下さい。

JSCA千葉 事務局の電話番号は、043-225-2181 です。

JSCA千葉役員会議事録抜粋(菅谷役員)

<p><b>平成29年度</b></p> <p>第1回(平成29年4月10日) 13名</p> <p>(1) JSCA千葉第20回(平成29年度)通常総会について</p> <p>(2) 見学会について</p> <p>(3)液状化対策工事報告について</p> <p>第2回(平成29年5月8日) 18名</p> <p>(1) JSCA千葉第20回(平成29年度)通常総会について</p> <p>(2) 伝統木造建物耐震補強講習会について</p> <p>(3) 賛助会員承認の件</p> <p>第3回(平成29年5月29日) 19名</p> <p>(1) 総会決算及び会計報告</p>	<p>(2) 伝統木造建物耐震補強講習会について</p> <p>第4回(平成29年7月10日) 16名</p> <p>(1) JSCA千葉新年会及び2018年総会(平成30年度)について</p> <p>(2) 千葉県建築学生賞について</p> <p>(3) 東京理科大学への講師派遣について</p> <p>第5回(平成29年9月11日) 16名</p> <p>(1) 研修懇親旅行について</p> <p>(2) 見学会について</p> <p>(3) 若手勉強会について</p> <p>第6回(平成29年10月16日) 14名</p> <p>(1) 研修懇親旅行について</p>	<p>(2) 見学会について</p> <p>(3) 若手勉強会について</p> <p>(4) JSCA千葉新年会講師選定について</p> <p>第7回(平成29年11月21日) 13名</p> <p>(1) 見学会について</p> <p>(2) JSCA千葉新年会及び2018年総会(平成30年度)について</p> <p>(3) 千葉県建築学生賞について</p> <p>(4) JSCA千葉役員改選について</p> <p>第8回(平成29年12月18日) 15名</p> <p>(1) 見学会について</p> <p>(2) JSCA千葉新年会及び2018年総会(平成30年度)について</p>	<p>第9回(平成30年1月15日) 11名</p> <p>(1) JSCA千葉新年会について</p> <p>(2) 見学会について</p> <p>(3) 2018(平成30年度)総会講師選定について</p> <p>第10回(平成30年2月19日) 16名</p> <p>(1) 2018(平成30年度)総会講師選定について</p> <p>(2) JSCA千葉新役員について</p> <p>(3) 見学会について</p> <p>第11回(平成30年3月12日) 15名</p> <p>(1) 2018(平成30年度)総会について</p> <p>(2) 見学会について</p>
--	--	--	---

編集後記

今号の会報では、記事内の個人は、名字+役職名で表記しました。姓名をお知りになりたい方は、出席者名簿に記載されています。出席者にのみ分かるようにしました。

今号(通巻48号)の記事は、JSCA千葉(広報・会員委員会)が各行事の資料から編集しました。

将来、Web版が常識となる事や、会報への記事提供に備えLivedoor Blogに「JSCA千葉会報準備室」があります。情報提供していただける方は、コメントとして書いていただければ後日、取材させていただきます。

安田編集長から明智編集長へ引き継がれた中で、発行されてきたこの様子を廃止する事には躊躇しました。体裁を変えず発行していくのが組織の会報にはふさわしいという結論に達し、前号までの伝統を継承しました。

一般社団法人 日本建築構造技術者協会(略称JSCA)は、(Japan Structural Consultants Association)です。そして会報「JSCA千葉ニュース」は、1989年に設立された建築構造に関する高度な技術と豊富な実務経験を有する建築構造技術者の団体(JSCA)の関東甲信越支部千葉地域会の会報という位置づけとなります。